

事項	「青台3」に接いだりんご「ふじ」は「M.26」に接いだ場合よりコンパクトな樹になる		
ねらい	りんごわい性台木「青台3」は、平成13年度から試作台木として取り上げてきたが、穂品種に「ふじ」を用いた場合、一般的に利用されているわい性台木「M.26」に接ぐより樹がコンパクトになり、収量、品質には大差ないことが明らかになったので参考に供する。		
指導参考内容	<p>1 樹の大きさ 穂品種が「ふじ」の場合、「青台3」は「M.26」の樹容積比で20%程度コンパクトになる。</p> <p>2 台木地上部長 穂品種が「ふじ」の場合、台木地上部長は20cmでよい。</p> <p>3 収量 穂品種が「ふじ」の場合、「青台3」と「M.26」の収量差はない。</p> <p>4 品質 穂品種が「ふじ」の場合、「青台3」の着色は「M.26」よりやや劣る傾向にあるが、一果重及び糖度では「青台3」と「M.26」の差はない。</p> <p>5 ビターピットの発生 「ジョナゴールド」や「王林」などではビターピットが出やすい傾向があるので利用を避ける。</p>		
期待される効果	<p>1 低樹高化が期待できる。</p> <p>2 りんご生産指導要項に記載されている栽植距離に収めることが容易になる。</p>		
利用上の注意事項	土壌条件によって栽植距離を調節する。		
担当部署 (担当者名)	青森県農林総合研究センターりんご試験場 栽培部 (新谷潤一、今村友彦、福田典明)	対象地域	県下全域
発表文献等	<p>平成12～14年度 青森県りんご試験場試験研究成績概要集</p> <p>平成15～20年度 青森県農林総合研究センターりんご試験場試験研究成績概要集</p> <p>東北農業研究第61号</p>		

【根拠となった主要な試験結果】

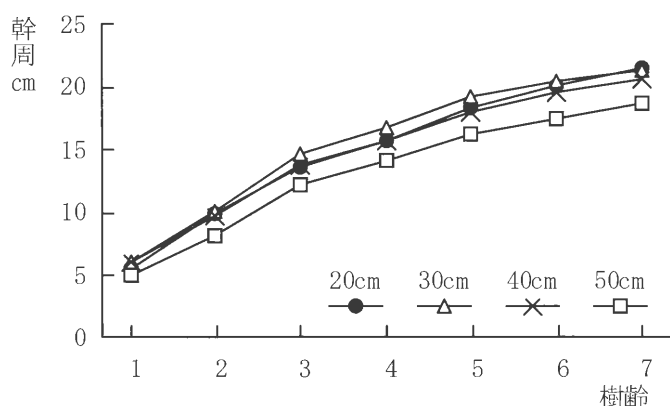


図1 ぶじ/青台3の台木地上部長別幹周

(平成14～20年 青森農林総研りんご試)

(注) 50cm区は1年生から幹周が小さい

表1 ぶじの台木別生育 (平成20年 青森農林総研りんご試)

台木	樹齢(年)	幹周(cm)	樹高(m)	樹幅(m)	樹容積比
青台3	9	27.7	3.8	2.3	0.78
M.26	9	30.7	4.3	2.4	1.00

(注) 1 栽植距離：4.0m×2.0m

2 樹容積比：樹高、樹幅から算出、M.26に対する比率

表2 ぶじの台木別収量、果実品質

(平成13～20年 青森農林総研りんご試)

台木	累積収量(t/10a)	一果重(g)	糖度(%)	赤色度
青台3	30.6	362	15.1	84
M.26	30.3	359	15.0	90

(注) 1 収量：平成13～20年の8年累計、収量以外は平成14～20年の7年平均

2 糖度、赤色度：光センサー選果機で測定

3 赤色度：数値が大きいほど着色が良い

表3 品種、台木、年次別ビターピット発生率 (平成16～20年 青森農林総研りんご試)

品種	台木	ビターピット発生率(%)				
		平16	平17	平18	平19	平20
ふじ	青台3	0	0	0	0	0
	M.26	0	0	0	0	0
つがる	青台3	8	1	2	3	0
	M.26	1	0	0	0	0
ジョナゴールド	青台3	30	12	1	24	2
	M.26	1	3	0	9	0
王林	青台3	13	30	10	13	2
	M.26	4	11	6	5	0

(注) ビターピット調査時期：収穫直後